

# 川上ダム通信

2014  
10  
月号



Vol. 109

Since 2005

独立行政法人水資源機構 川上ダム建設所  
〒518-0294 三重県伊賀市阿保 251 番地 TEL: 0595-52-1661 (代)

川上ダム通信は川上ダムホームページでもご覧いただけます。  
<http://www.water.go.jp/kansai/kawakami> 又は「川上ダム通信」で検索  
ご意見・ご感想はこちらへ <mailto:somu1@ily.ocn.ne.jp>



## 大規模地震を想定、防災訓練を実施

当建設所では、9月1日(月)の「防災の日」にあわせて地震防災訓練を実施しました。

南海トラフ沿いの地域では、これまで100～150年の周期で大規模な地震が発生し、30年以内の発生確率は70%程度とも言われており、大規模地震に対する危機感は日増しに高まっています。

例年、当建設所では一般電話が使えない想定で、防災用無線とマイクロ回線電話(専用線)を利用して、初動態勢の確立や情報の収集・伝達を中心とした訓練を実施してきました。

しかし、平成23年に発生した東北大地震の例を見ても分るように、一般電話や携帯電話の関連施設の被災に加え、道路、鉄道等の交通網が寸断されて人の移動が困難になることが明らかです。

今年度はより実践的な試みとして、一部職員が参集困難となり、さらには現場内での災害に職員が巻き



刻々と変わる被災現場からの情報を分析する防災本部

込まれ、十分な防災要員が確保出来ないという、より厳しい設定で訓練を実施しました。

各職員はこれまでの経験を活かし、何とか無事に訓練を終えることが出来ました。一方で、情報が無線担当に集中した時にうまく伝わらない等、防災要員が十分確保出来ているときには気づかなかった課題も浮き彫りになりました。

今後、今回の訓練の成果や反省を踏まえて、迅速な対応が可能になるように、より一層の防災意識の向上、態勢の強化を図って参ります。



電力供給訓練

整備良好！一発で始動した発動発電機

【工務課 田中英晶】

# 立入禁止ゲートの設置

現在、付替県道青山美杉線は道路管理者により車両通行止めの措置が講じられているところですが、当建設所では、付替県道青山美杉線2工区付近の工事本格化に伴い工事車両等が錯綜するため、安全確保の観点から下図の位置に9月から新たに3箇所の立入禁止ゲートを追加しました。

山林管理等で立入禁止区間に入る必要がある方には引き続きご不便をおかけしますが、ご協力のほどよろしくお願いいたします。



川上ダム事業地内立入禁止区間

【工務課 関根隆好】

# 千方將軍の靈験あらたか～逆柳の甌穴祭り～

逆柳の甌穴にまつわる伝説をご存じでしょうか？

時は平安時代、この地で勢力を誇った豪族、藤原千方將軍と四鬼（<sup>ふじわらちかた</sup>金鬼・<sup>よんき</sup>風鬼・<sup>きんき</sup>水鬼・<sup>ふうき</sup>隠形鬼）が朝廷軍と戦ったおり、討ち取った敵の首をこの甌穴に投げ込んだとの言い伝えがあり、別名「<sup>ちこべがいど</sup>血首ヶ井戸」といわれています。甌穴に溜まった石を取り除くと、千方將軍が怒り雨を降らすといわれていることから、干ばつの際には村総出で甌穴に溜まった石をわざと取り除き、雨乞いの祈願を行ったそうです。

高尾住民自治協議会千方伝承会では、この伝説にちなみ地域活性化を図るため、毎年「高尾 逆柳の甌穴まつり」を開催しています。今回で7回目の開催となりました。

お祭りがはじまると、それまでの晴天が嘘のようにあたりが急に薄暗くなり、千方將軍の怒りの大雨が降ってきました。訪れた約300人は靈験あらたかな雨に打たれたものの、マスのつかみ取り、甌穴内の見学、厄よけ石の投げ込み、千方將軍・四鬼との記念撮影などで楽しい一日を過ごしました。

来年のお祭りに皆様も参加され、千方將軍のパワーを感じてみては如何でしょうか。

【総務課 梅村喜重】



マスのつかみ取りで楽しむ参加者



千方將軍・四鬼と記念撮影

# ホームページもよろしく!

みなさんは川上ダム建設所ホームページをご覧になったことがあるでしょうか。

現在のホームページでは、「欲しい情報が判りづらい」、「うまく印刷できない」、「なかなか内容が更新されていない」等のご指摘をいただいていることから、10月以降、内容の改善や充実を随時図っていくこととしています。今後、できるだけタイムリーな情報を発信していきますので、川上ダム建設所ホームページもご覧いただければと思います。

また、「〇〇の情報を追加して欲しい」「〇〇の記載を改善して欲しい」等、気がついた点についてご意見をいただければ幸いです。いただいたご意見を参考にさらなる改善を図っていきたくと考えております。

「川上ダム通信」同様、ホームページもよろしくお願ひします。

【副所長 淵上吾郎】



川上ダムで

(<http://www.water.go.jp/kansai/kawakami/>)

## ダム用語集 #4 アーチ作用

8月号のダム用語集「アーチ式コンクリートダム」に引き続き、今回は「アーチ作用」の原理や歴史、これを応用した建造物について紹介したいと思います。

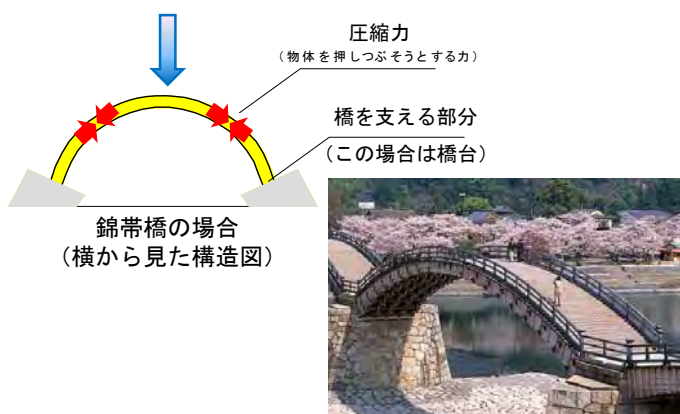
まずアーチ作用を応用した建造物は、中央部が上方向に凸な曲線形状をしているのが特徴であり、この曲線部分を上から押そうとする力が、アーチ部分の内部において縮まろうとする力（圧縮力）に変換され、両側の支える点に伝達しその力を受け持ちます。その場合、支える部分は強固な地盤や構造物でなくてはなりません。（下図参照）

アーチの歴史は、紀元前30世紀頃（約5000年前）には、メソポタミアでアーチ橋が作られたとされている説もあり、古くからアーチが構造物に利用されてきました。

我が国でも古くからアーチを応用した建造物は多々あり、長崎市の眼鏡橋（石造）、山口県岩国市の錦帯橋（木造）等があります。その他にもトンネルや建築物の一部にも使用されていますので、お出かけの際はアーチを探してみてもは如何でしょうか。

【調査設計課 本高和行】

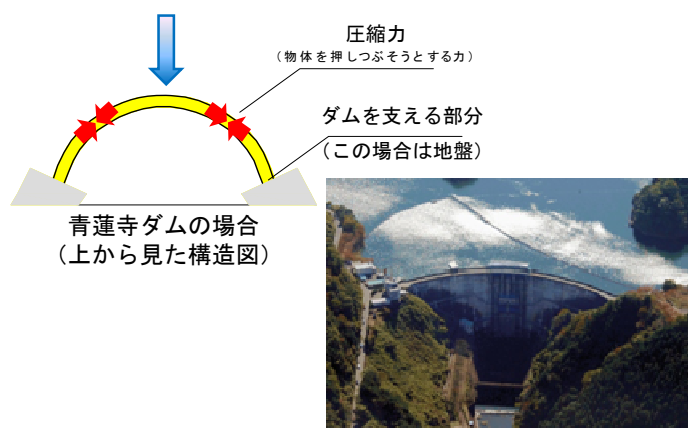
アーチに加わる力（人）



錦帯橋（木造）

出典：山口県岩国市HPより

アーチに加わる力（水）



青蓮寺ダム

# 近畿地方整備局で本紙を紹介

9月1日（月）と2日（火）、大阪合同庁舎（大阪市）にて国土交通省近畿地方整備局主催の研究発表会が開催されました。この発表会では、「地域づくり・コミュニケーション部門」、「調査・計画・設計部門」、「施工・安全管理対策部門」、「防災・保全部門」、「新技術・新工法部門」、「行政サービス部門」の6部門124課題の発表がありました。当建設所からは、「地域づくり・コミュニケーション部門」で本紙を題材とした「地域との交流を育む川上ダム通信」を発表しました。

本紙の発行により地域の皆様と交流を深めるよう努めていること、平成17年創刊以来ほぼ毎月発行していること、その成果として、地域の方から「ダム通信を楽しみにしている」との感想を耳にする機会が多くなったことや職員の広報に対する意識向上が図られていること等を発表しました。

本発表により、審査員の方をはじめ、会場に来られた皆様に、当建設所の広報の取り組みを知っていただくよい機会となりました。 【総務課 湯本洋】



熱心に聞き入る来場者

## イベントのお知らせ

### 第68回芭蕉祭

開催日時：10月11日（土）～12日（日）  
開催場所：上野公園（上野公園俳聖殿広場前等）  
お問い合わせ：（社）伊賀上野観光協会  
TEL：0595-26-7788

### ひじきコスモス祭り

開催日時：10月12日（日）  
開催場所：比自岐小学校周辺  
お問い合わせ：比自岐地区市民センター  
TEL：0595-37-0029

### 上野天神祭

開催日時：10月23日（木）～25日（土）  
開催場所：上野天神宮、伊賀市街地、三筋町等  
お問い合わせ：上野天神祭地域振興実行委員会  
TEL：0595-21-0527

### 種生神社秋祭り

開催日時：10月25日（土）～26日（日）  
開催場所：種生神社  
お問い合わせ：青山観光協会  
TEL：0595-52-5202

### ふれあいフェスタ in 青山

開催日時：10月26日（日）  
開催場所：伊賀市役所青山支所周辺  
お問い合わせ：ふれあいフェスタ in 青山実行委員会  
TEL：0595-62-3811

## 本紙に対するご意見と掲載記事を募集します♪

当建設所では、読者の皆様により一層親しみながら川上ダム通信をお読み頂けるよう、本紙に対するご意見や掲載記事を募集しています。詳細については、下記までお問い合わせくださいようお願いします。

【問い合わせ先】総務課 梅村 TEL：0595-52-1661

Mail：[somu1@lily.ocn.ne.jp](mailto:somu1@lily.ocn.ne.jp)

※掲載記事については、広告など営利目的のものはお受け致しかねますのでご了承下さい。

## 編集後記

朝夕の気温がグッと下がり、季節はもうすっかり秋です。秋といえば、「読書の秋」「スポーツの秋」「食欲の秋」・・・と様々ありますが、皆様はどのような秋をお過ごしでしょうか。秋は何かを始めるのにいい季節だといいますが、川上ダム建設所はまさに「再スタートの秋」となりました。これからも本紙やホームページを通して、より一層の川上ダム情報を発信していきますので、引き続きご愛読のほどをよろしくお願いいたします。

### 【広報誌発行事務局】

編集長	神矢（所長）	
デスク	梅村（総務課長）	田中（工務課長）
記者	渡辺（総務課）	高橋（第一用地課）
	桐山（第二用地課）	大谷（調査設計課）
	金井（環境課）	飯島（工事課）
	日隈（工務課）	